

## 令和2年2月定例会一般質問発言通告表

| 発言<br>順序 | 議席<br>番号 | 氏名                                 | 若 林 志津子 議員  | 1 / 1      |
|----------|----------|------------------------------------|---|------------|
| 発言項目     |          | 要 旨                                |   | 答弁者        |
| 1        |          | 加齢難聴に対する認識と補聴器補助などの取組について          | <p>(1) 加齢難聴に対する見解を伺う。</p> <p>① 厚生労働省が2015年に策定した認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）で、難聴は認知症の危険因子の一つとされていることについて。</p> <p>② 国会で「補聴器購入助成」を求める質問に対し、前向きな答弁がされていることについて。</p> <p>③ 日本共産党地方議員相談室の調査では2019年9月時点で、東京都の9区、千葉県の2市、県内の長泉町ほか6市2町で補聴器購入資金助成制度が実施され、「国に補聴器購入費用の助成を求める意見書」は兵庫県など4県議会、近江八幡市など21市議会、北海道斜里町など8町議会で加齢難聴の支援について採択がされていることについて。</p> <p>(2) 現在、市では市民に加齢難聴を知らせることの取組についてどのようなことを行っているのか。</p> <p>(3) 補聴器助成を実施することの検討はされたのか。その検討内容を伺う。</p> <p>(4) 補聴器購入補助制度の創設を要望するが見解を伺う。</p>   | 市長<br>関係部長 |
| 2        |          | 富士宮市避難所運営マニュアルを実践に生かす方法と避難所の設備について | <p>(1) ファーストミッションボックスの導入を提案するのかがか。ファーストミッションボックスとは、災害発生時に、災害対策本部や避難所などの活動拠点で最初（ファースト）に集まった人たちが、迅速かつ的確な初動対応が行えるように、やるべき任務（ミッション）を記載した指示書（カード）と、最低限必要となる事務用品を一つの箱（ボックス）にまとめた物である。</p> <p>(2) 全国各地で長期に避難所生活を余儀なくされている人たちがいる。その人たちが避難所生活での不便さを具体的に発言している。その発言から避難所の設備について伺う。</p> <p>① 体育館に大勢が避難したときに冬だと暖房器具、夏だと扇風機、食事を温めるレンジ、お湯を湧かす電気ポット、携帯電話の充電など多くの電気の使用が想定されるが、それぞれの避難所での電気設備はそれらに対応できているのか。対応できていない場合の改善はどのようなになるのか。</p> <p>② 避難所生活は日常生活との違いはあるとわかっているても身体を清潔に保つことは衛生上も必要なこと。避難所にシャワー設備があるのか。ない場合はどのように対応し、今後どのように改善するのか。</p> | 市長<br>関係部長 |
| 3        |          | LGBTの方々に配慮した取組の状況について              | <p>(1) 昨年9月定例会で公的書類に不必要な性別欄をなくすよう提案したが、取組状況を伺う。</p> <p>(2) 避難所マニュアルに、性的少数者に「配慮」した記載があるのは全国の都道府県、道府県庁所在地、政令市、東京23区の121自治体で23%になっている。当市では記載がないがどのような対応をするのか。</p> <p>(3) 性的少数者のカップルが同居の親族と同様にパートナーの安否情報が得られるようになっているのか。なっていないなら、今後どのように対応するのか。</p>   | 市長<br>関係部長 |